

廿日市市大野地域景況調査報告書 (2023年4月～9月)

1. 大野地域及び広島県内商工会地域における2023年4月～9月のDI値(景気動向指数)

		製造業		建設業		卸・小売業		サービス業	
		前年比	来期見通し	前年比	来期見通し	前年比	来期見通し	前年比	来期見通し
売上	大野地域	▲ 33.3	66.7	50.0	0.0	▲ 33.3	▲ 66.7	50.0	50.0
	県内商工会地域	8.0	▲ 10.0	▲ 2.4	▲ 16.7	▲ 22.9	▲ 20.0	5.8	4.3
仕入単価	大野地域	100.0	66.7	100.0	50.0	100.0	50.0	100.0	100.0
	県内商工会地域	79.2	70.8	64.2	45.3	74.3	54.3	68.6	64.2
採算	大野地域	0.0	33.3	50.0	50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	100.0	▲ 50.0
	県内商工会地域	▲ 12.0	▲ 14.0	▲ 26.9	▲ 29.3	▲ 44.1	▲ 35.3	▲ 23.2	▲ 21.7

上記 DI 値からみた大野地域、旧廿日市市及び広島県内の景気動向であるが、売上については前年同期と比べて横ばいもしくは若干の改善が見られる。また採算については概ね改善となっている。仕入単価をみるとすべての業種で単価がアップしたと答えており、特に大野地域においては DI 値が 100 となっていることも多く、これは前回調査に引き続いてすべての事業者が「仕入単価がアップした」と回答したということでもあり、引き続き仕入単価の上昇が採算に大きく影響を及ぼしていることが分かる。

次に業種別に動向を見ていくと、製造業は前年同期と比べると大野地域において売上は若干減少となっているが、県内商工会地域ほぼ横ばい状態である。また、仕入単価も前年同期と比べるとアップとなっており、来期の見通しも引き続きアップする傾向にあると思われる。

建設業については、大野地域においては改善が見られるが、仕入単価の上昇は対前年比だけでなく次期の見通しとしてもさらに上昇するとの予測となっている。なお、広島県内の商工会地域においては、売上は今後の見通しも含めて悪化予想となっている。

卸・小売業においては県内商工会地域ともに悪化したとの回答であり、今後もその傾向が続くと予想されている。また、仕入単価も上昇し続けるとの予測であり、採算は非常に厳しいとの見方となっている。

サービス業においては県内商工会地域においては前年同期より改善が見られ、今後の予測も改善の傾向であり、採算においても同様である。一方で、広島県内商工会地域においては、前年同期と比べると売上については横ばい、仕入単価の上昇等もあり採算は悪化傾向にあることが伺える。

2. 大野地域サポーターの声

上記の、旧廿日市市及び広島県内の商工会地域の景況を踏まえたうえで、大野地域サポーターの2023年4～9月の景況感下記のとおりであった。

業種	サポーターの声
【製造業】	<ul style="list-style-type: none"> ○売上は減少傾向にあるが、人件費削減もあり採算は合っている ○材料費は高値で落ち着いている感がある ○年度末に向けて売上は上向き傾向 ○仕入高は相変わらず止まらない ○テーブルや椅子については去年は住宅、今年は店舗の方が忙しい

【建設業】	<p>○働き方改革の影響もあり、人手不足が激しく利益が薄くなっている</p> <p>○材料費は依然として高騰している</p> <p>○材料費は毎月 10% ずつアップしている</p> <p>○半導体等については落ち着いてきている気がする</p> <p>○人手不足が激しく新卒の高校生も大手から採用されていくため、我々のような地域の中小企業者は採用が難しい</p>
【卸・小売業】	<p>○猛暑の影響が大きく、生鮮品は価格高騰している</p> <p>○高価なものは無理して食べなくても良い、という話になってくる</p> <p>○エアコン工事については多忙であったが、一方でテレビ等の黒物家電は動かない</p> <p>○猛暑の影響で価格は倍になっている</p> <p>○ハウス等で栽培するものは、燃料費高騰の影響も受け価格が高騰している</p> <p>○円安の影響も大きく、価格は 2 割高</p>
【サービス業】	<p>○サミットの影響もあって、売上は回復し現在はコロナ前の 9 割程度</p> <p>○価格はすべてが高騰しており、業界的には価格転嫁しているところの方が多い</p> <p>○人手不足については隙間バイトのマッチングなども活用している</p> <p>○大手中古車販売や保険業界の影響で非常にイメージが悪くなっている</p> <p>○イベントはその規模に関わらず増加傾向にある</p>

3. 全国商工会地域における 2023 年 9 月の DI 値（景気動向指数）

～不安定な売上が続き、先行きに不透明感が強い小規模企業景況～

DI	産業全体			製造業			建設業		
	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比
売上額	8.9	5.6	▲ 3.3	6.8	3.7	▲ 3.1	7.6	4.8	▲ 2.8
採算	▲ 32.7	▲ 32.1	0.6	▲ 36.4	▲ 37.6	▲ 1.2	▲ 37.9	▲ 32.9	5.0
資金繰り	▲ 28.0	▲ 27.3	0.7	▲ 29.8	▲ 29.8	0.0	▲ 38.4	▲ 32.5	5.9
業況	▲ 19.1	▲ 20.3	▲ 1.2	▲ 23.8	▲ 24.2	▲ 0.4	▲ 23.4	▲ 25.8	▲ 2.4

DI	小売業			サービス業		
	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比
売上額	2.8	▲ 0.7	3.5	18.3	14.5	▲ 3.8
採算	▲ 35.9	▲ 37.9	▲ 2.0	▲ 20.7	▲ 19.9	0.8
資金繰り	▲ 29.5	▲ 32.4	▲ 2.9	▲ 14.1	▲ 14.6	▲ 0.5
業況	▲ 24.5	▲ 28.4	▲ 3.9	▲ 4.4	▲ 2.7	1.7

<製造業> …生産が安定せず、売り上げ回復を図ることができない製造業

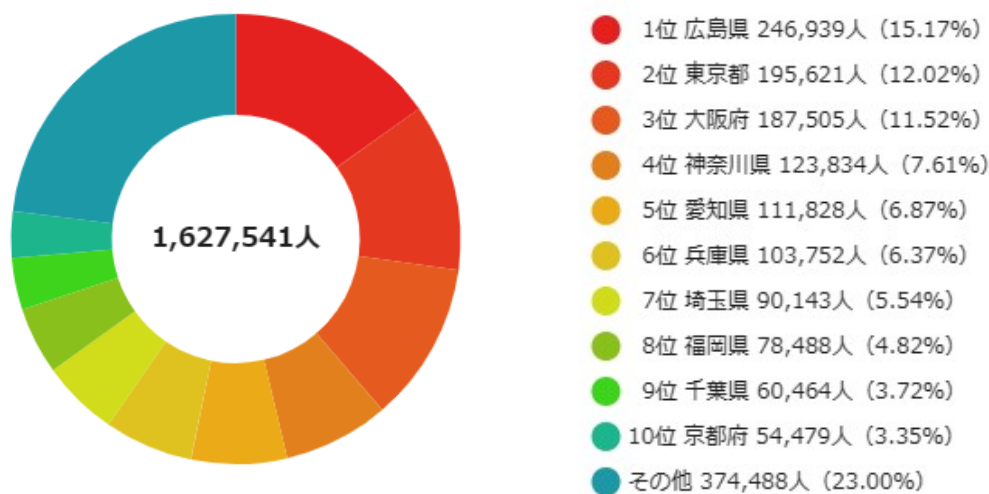
<建設業> …受注減少と人手不足が相まって、業況回復への道のりが遠い建設業

<小売業> …長引く酷暑と物価高による買い控えで、全 DI が悪化した小売業

<サービス業> …需要が一服し、停滞感が強まるサービス業

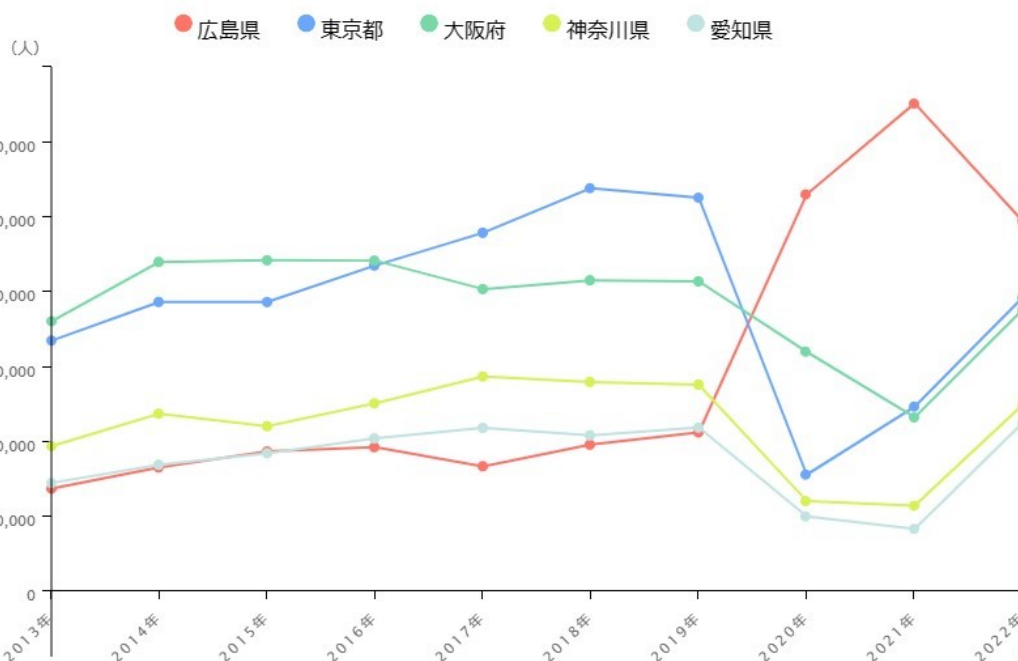
4. 「RESAS」(地域経済分析システム)を活用した地域の経済動向分析

(1) 廿日市市における居住都道府県別の延べ宿泊者数(日本人)の構成割合(2022年)



【出典】観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」

(2) 廿日市市における居住都道府県別の延べ宿泊者数(日本人)の推移



上記のデータは廿日市市全体のデータではあるが、宿泊者が日本国内のどこの居住地から来たものかを示したものである。2022年においては広島県内からの宿泊者がもっとも多く、そのあと東京・大阪などの大都市からの宿泊者が多いことが分かる。しかしながらコロナ前の2019年までは東京大阪が多かったこと、2021年と比較すると広島県内の宿泊者は減少し、県外の宿泊者が増加傾向にあることからコロナ前の状態に戻りつつあることがわかる。